

訪米報告（ワシントン・ニューヨーク）

2月1日～6日

民主党国際局長 元財務副大臣
参議院議員 藤田幸久

日米関係を重視する観点から、民主党として党の方針・政策等を米国の政府・議員・有識者などに伝えると共に、米国大統領選挙とその後に向けての米国の動向を探るため、古川元久民主党税政調査会長・経済連携調査会長（衆議院議員）、と民主党国際局長・NC外務副大臣である参議院議員の私と樋口民主党国際部長との三人でワシントンとニューヨークを訪問しました。

1 The National Prayer Breakfast (NPB) に出席（2月4日）

今回の訪米の最大の目的が私にとって3回目の出席となるNPBへの出席です。この会議は1953年以来、大統領夫妻、米議会議長、米軍参謀長などが必ず出席して毎年2月に開催され、本年が第64回目です。毎週、民主党と共和党の上院と下院議員が朝食を共にし、お互いの悩みなどを語りあった後に一緒に祈るという朝食会を開催しており、その年次総会に当たるのがこのNPBです。アメリカの議員はキリスト教ですがNPBに関しては他の宗教の人々も世界各国から招かれ、宗教や立場を超えて一堂に会し話し合い、共に祈るという会で、今年は世界中から約3,000人が参加しました。オバマ大統領は、今回、大統領として最後の参加で「難しい決断をしなければならない時には、心の中の恐れを克服し、欲望に負けずに、愛の力によって決断しなければなりません。相手から最悪のものを引き出すのではなく、最善のものを引き出すことが必要です。指導者として謙虚さと慈悲の精神で正義を探求します。分裂してしまった人々を、『愛』によってまとめることが大切です」と切々と訴え大きな起立喝采を浴びました。



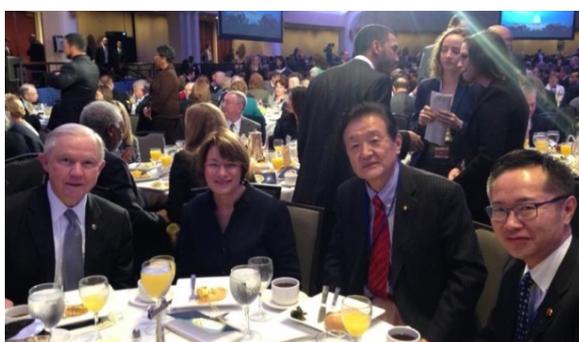
バラク・オバマ大統領



ポール・ライアン外院議長



アセディロ議員(フィリピン)



ロジャー・ウィッカー上院議員、アミー・クロブチャー上院議員と

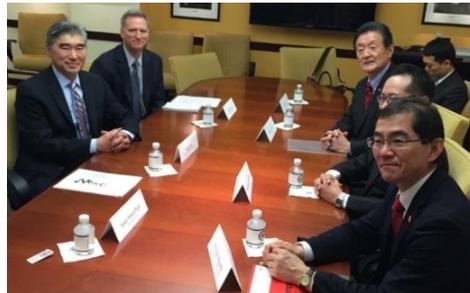
ジャーニー・ハーン下院議員と再会。この方の叔父ロバート・フォックスさんは茨城キリスト教大学の創設者の一人です。



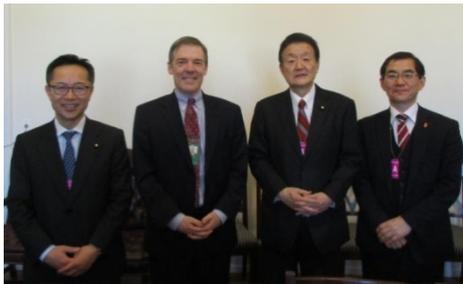
NPB は他にも数日間、様々な講演会や昼食会などが開始され、ティモシェンコ・前ウクライナ首相や、サミ・ウケリ元駐日コソボ大使などがゲストとして、故国の紛争や政争による苦難や、その後の和解への努力、日本での活動などについて感動的なスピーチをされました。

2 米国政府関係

- (1) 国務省で、ソン・キム国務次官補とジョセフ・ヤング日本部長と会談しました。旧知のソン・キム国務次官補は前駐韓大使で、年末の慰安婦問題に関する日韓合意を評価する一方で、その実行に関する更なる努力に期待を示しました。北朝鮮の行動に懸念を示していましたので、私達の帰国後に北朝鮮がミサイルを発射したというニュースが入り大変残念です。日韓米の連携が重要です。(2月4日)



- (2) ホワイトハウスで国家安全保障局(NSC)のジョンストン日本部長と会談し、北朝鮮問題、日米関係、基地問題、TPP 等について意見交換しました。(2月2日)



- (3) 連邦準備制度理事会(FRB)のフィッシャー副議長と懇談しました。私にとってグリーンспан議長、バーナンキ議長との会談に続いて3度目のFRB訪問です。日米アジアの経済状況、通貨・金融政策について意見交換しました。中国に限らず日本の動向にも関心を抱いていました。(2月2日)



3 シンクタンク・有識者

(1) アメリカ進歩センター(CAP)における円卓懇談会(写真右)に出席しました。ニーラ・タンデン所長(写真左の左から2番目)はヒラリー・クリントンが大統領に就任すれば閣僚クラスのポストに就くと言われている側近です。ヴィクラム・シン副会長、グレン・フクシマ顧問や民主党のシンクタンク「全米民主国際研究所(NDI: National Democratic Institute)」の幹部、マイケル・シーファー元国防次官補、米日議員連盟の共同議長であるジャクイン・カストロ下院議員のダニー・メサ上級外交アドバイザーなど12名が出席してくれました。(2月3日)



(2) 戦略国際問題研究所(CSIS)ジョン・ハムレ所長(元米国防副長官)と会談しました。日米安保と東アジア地域、中国情勢、TPPなどについて意見交換すると共に、民主党の考え方等を紹介しました。ハムレ所長からは沖縄の基地問題に関して沖縄の歴史、負担、民意などに配慮した対応が必要との私見を示されました。(2月2日)



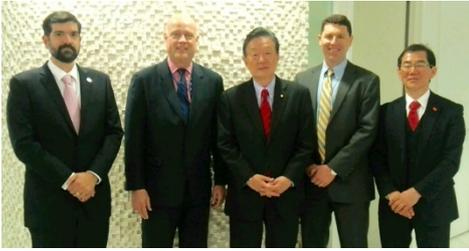
(3) リチャード・アーミテージ元国務副長官、ロビン・サコダ元国防総省日本部長と面会しました。日米協力、安保、沖縄の基地問題、日本の民主党の動向等について率直な意見交換を行いました。訪米毎の意見交換はその都度意味があります。(2月4日)



(4) ジョンズ・ホプキンス大学 SAIS 訪問し、ケント・カルダー教授・東アジア研究センター所長とラスト・デミング客員教授(元国務相に本部長)と日本の国内政治情勢、安倍政権及び民主党の状況について意見交換しました。日本にとって二大政党制は大切で民主党の再生に期待するとの言葉を頂きました。いわゆるジャパン・ハンドラーと異なり、真に日米関係の改善に努力して下さっていることに頭が下がります。私が米国元捕虜の招聘活動のイニチアチブをとってきたことをカルダー教授が評価して下さいました。(2月3日)



(5) マイク・モチヅキ教授(ジョージワシントン大学)ら日本研究者との昼食懇談しました。モチヅキ教授のほか、ジェフリー・ホーナン博士・笹川平和財団アメリカフェロー、トビアス・ハリス・テネオインテリジェンス理事長と、大統領選挙の米国と安倍政権下の日本との国内外・両国関係の現状について意見交換しました。日本の現状については安倍政権側の情報のみが政府・メディア等を通じてワシントンに伝わり、民主党や昨年の国会周辺での国民の連日のデモなどについてはまったく伝わっていないとのこと。対ワシントン対策の重要性を強調されました。(2月2日)



(6) 共和党のシンクタンクである「国際共和協会 (IRI: International Republican Institute)」を訪問し、ギャレット副会長、フリップ議会・政府関係部長、ラフード・アジア副部長と意見交換しました。私はカンボジアでの国際選挙監視団で、IRIの人々と一緒に行動したことがあります。米大統領選挙等の米国内情勢および、中国、東南アジア、東アジア情勢やと活動について意見交換しました。IRIで昨年来日し岡田代表とも面会したサム・レンシー・カンボジア救国党党首が偶然、この日ワシントンのCSISなどで講演していることがわかり、翌日ニューヨークで会うことができました。

4 労働組合

アメリカ労働総同盟・産業別組合会議 (AFL-CIO) 訪問。ティア・リー事務局次長、トニー・チェン「ワーキングアメリカ」部長補佐、リズ・マックエルロイ政策部次長と「ワーキングアメリカ」という一般市民に対する草の根の相談活動を中心に AFL-CIO の活動、大統領選挙への取り組み、政策課題などについてヒアリングしました。雇用・労働環境・賃金・TPP など共通する政策課題について情報交換しました。連合から出向している山口博臣・二等書記官にも同席してもらいました。(2月2日)



5 議会

(1) ジョン・ガラメンディ下院議員・軍事委員会委員(カリフォルニア選出・民主党)と会談し、移民・難民問題、沖縄の基地問題、安保法制、TPP、両国の政治状況などについて意見交換しました。ガラメンディ下院議員はTPPには反対の立場です。沖縄の基地問題については当初、日本政府の主張と同じ内容の発言でしたが、こちらから沖縄の歴史、基地負担の現状や民意などについて具体的に説明すると「まったく聞いていない。あらためて各方面から話を聞きたい」とのこと。日本からの直接情報の提供が重要であると意見が一致しました。(2月3日)



(2) ハンク・ジョンソン下院議員・軍事委員会委員(ジョージア州・民主党)と懇談しました。日米交流で度々来日している、創価学会員の仏教徒という珍しい議員です。(2月4日)



(3) 議会調査局で日本レポートを年に 2 回定期的に発行している研究員であるマーク・マニン博士、イアン・ラインハート氏、エマ・シャンレットアベリー女史と懇談しました。日本の政治経済状況、安保、沖縄、TPP 等をはじめ民主党の取り組み等について説明しました。政府・与党以外の動向などについての継続的な情報提供の重要性を感じました。(2月3日)

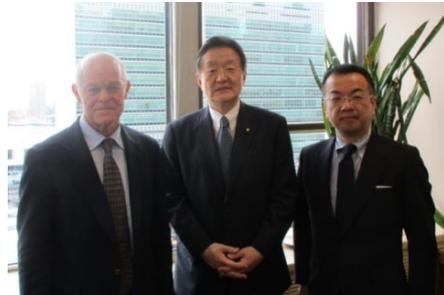
6 沖縄県ワシントン事務所平安山英雄所長を表敬



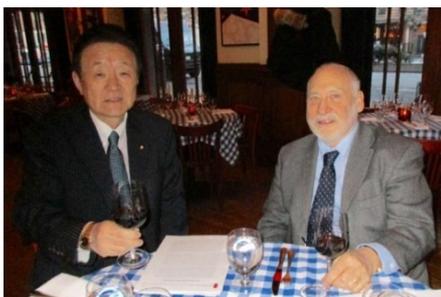
事務所の現状・今後の課題、基地問題に関する米側との現状等について伺いました。沖縄県の大使として活発に活動されています。(2月1日)

7 ニューヨーク

(1) 世界宗教者平和会議 (WCRP: World Conference for Religion and Peace) を訪問し、ウィリアム・ベンドレイ事務総長、杉山恭一副事務総長と面談しました。サウジアラビアとイランとのイスラム宗派対立による緊張関係 IS(イスラム国) による紛争やテロにおける宗教指導者たちの取り組みや仲介活動や今後の取り組みなどについてヒアリングしました。(2月5日)



(2) ノーベル経済学賞受賞者のジョゼフ・スティグリッツ教授と懇談しました。経済成長が格差を拡大させていること、戦争経済が多くの紛争をもたらしていること、TPP が一部の企業の利益の為に多くの国民の生活に犠牲を強いていることなどを率直に語って下さいました。そこに私の長年の親友であるカンボジア野党第 1 党のサム、レンシー党首夫妻が合流しました。昨年 11 月に日本を訪れてから、フン・セン首相の妨害で帰国できない状況が続いていますが、米国議会や CSIS など講演に招かれ、支持を拡大しているようです。その後スティグリッツ教授のお宅に夕食に招かれ楽しい一時を過ごしました。ジェームズ・ウォルフェンソン元世界銀行総裁(第 9 代) など親しい友人たちが招かれていました。(2月5日)



(3) 旧知の吉川元偉・国連日本代表部大使、岡村善文大使。国連事務次長兼国連開発計画危機対応局局長の中満泉さんと懇談しました。今まで色々なご縁があり、慰安婦問題、北朝鮮等についての国連での対応ぶり、外交におけるセカンド・トラックの重要性、在外公館での危機管理等について話がはずみました。国連で活躍される三人の活躍を誇りに思います。(2月5日)



(4) ニューヨークでの最終日は 911 メモリアルホールを訪れました。日本大使館の宮川さんと石井さんの案内です。私は 911 の日本人被害者やニューヨークの消防士の犠牲者家族の支援活動を行ってきただけに、胸に詰まる思いでした。戦争とテロと憎しみの連鎖を断ち切る切ることが最も大切であると改めて感じました。(2月6日)



(5) 在ニューヨーク日本人会役員と懇談しました。NY 在住日本人向け新聞を発行している方なから、日本の国政選挙での在外邦人投票制度の拡充等についての要請を受けるとともに、邦人生活や法人企業活動の現状等について貴重なお話を伺いました。(2月4日)